

人権教育に関する教職員の意識調査

令和元年 11 月

京都府教育委員会では、教職員の人権教育に関する意識や知識等を把握し、教職員の人権意識の高揚及び人権教育を推進するための研修の充実・改善に活かすとともに、人権教育の一層の充実を図るため、本調査を実施します。府内教職員の 30% に当たる約 3,000 人を対象としており、無作為抽出であなたが選ばれました。趣旨を御理解いただき、日頃のお考えを率直に御記入ください。

なお、回答は無記名で、調査結果はすべてコンピュータで統計的に分析されますので、個人や学校が特定されることはありません。

趣旨を御理解いただき、調査への御協力をお願いします。

- 1 次ページからの質問に対して、あてはまる（近い）ものを選び、該当するマークシートの番号を塗りつぶすとともに、必要に応じて自由記述用紙に記述してください。

番 号	氏 名	月 日	番号・氏名・月日は記入不要です。
1	1	1	1
2	1	1	1
3	1	1	1
4	1	1	1
5	1	1	1
6	1	1	1
7	1	1	1
8	1	1	1
9	1	1	1
10	1	1	1
11	1	1	1
12	1	1	1
13	1	1	1
14	1	1	1
15	1	1	1
16	1	1	1
17	1	1	1
18	1	1	1
19	1	1	1
20	1	1	1
21	1	1	1
22	1	1	1
23	1	1	1
24	1	1	1
25	1	1	1
26	1	1	1
27	1	1	1
28	1	1	1
29	1	1	1
30	1	1	1
31	1	1	1
32	1	1	1
33	1	1	1
34	1	1	1
35	1	1	1
36	1	1	1
37	1	1	1
38	1	1	1
39	1	1	1
40	1	1	1
41	1	1	1
42	1	1	1
43	1	1	1
44	1	1	1
45	1	1	1
46	1	1	1
47	1	1	1
48	1	1	1
49	1	1	1
50	1	1	1

回答番号です。45 まで使用します。

- 2 回答が終わりましたら、マークシート及び自由記述用紙を提出用封筒に入れ、厳封し、無記名で所属校の校長に提出してください。

提出期限 令和元年 12 月 9 日（月）

問1 あなたが勤務している学校の校種等を選んでください。 **回答番号1**

- [1] 小学校（義務教育学校前期） [2] 中学校（義務教育学校後期）
- [3] 高等学校 [4] 特別支援学校

※義務教育学校の場合は、現在、主に担当している校種等を選んでください。

問2 あなたの勤務している学校が市町（組合）立の場合は、[1] ～ [5] の所在地域を選んでください。府立学校（附属中学校含む）の場合は、[6]を選んでください。 . . . **回答番号2**

- [1] 乙訓教育局の所管市町
- [2] 山城教育局の所管市町（広域連合）
- [3] 南丹教育局の所管市町
- [4] 中丹教育局の所管市
- [5] 丹後教育局の所管市町（組合）
- [6] 府立学校

問3 あなたの職名を選んでください。 **回答番号3**

- [1] 校長 [2] 教頭・副校長・総括主事 [3] 教諭等（主幹教諭・指導教諭含む）
- [4] 養護教諭 [5] 栄養教諭 [6] 実習助手（実習教諭含む）
- [7] 常勤講師

問4 あなたの年齢（令和2年3月31日現在）を選んでください。 **回答番号4**

- [1] 29歳以下 [2] 30～39歳 [3] 40～49歳 [4] 50歳以上

問5 以下の人権教育に係る校務分掌等の経験があればすべてを選んでください。

. **回答番号5**

- [1] 同和加配 [2] 児童・生徒支援加配 [3] 人権教育主任・部長
- [4] その他人権教育に係る指導的役割を担う職 [5] これらの校務分掌等の経験はない

問6 過去3年間で、人権に係る研修（校内・校外含む）を受けた回数を選んでください。

. **回答番号6**

- [1] 0回 [2] 1～2回 [3] 3～4回 [4] 5～6回 [5] 7回以上

問7 あなたは以下の人権問題を児童生徒に教えたことがありますか。教えた項目すべてを選んでください。 **回答番号7**

- [1] 同和問題 [2] 女性 [3] 子ども [4] 高齢者 [5] 障害のある人
- [6] 外国人 [7] ハンセン病・感染症・難病患者等 [8] 犯罪被害者等
- [9] これらの人権問題を教えたことがない

問8 あなたは以下の人権問題を児童生徒に教えたことがありますか。教えた項目すべてを選んでください。 **回答番号8**

- [1] ホームレス [2] 性的指向・性自認 [3] 刑を終えて出所した人
- [4] アイヌの人々 [5] 婚外子 [6] 識字問題
- [7] 北朝鮮当局による拉致問題等 [8] インターネット社会における人権の尊重
- [9] これらの人権問題を教えたことがない

問9 あなたは、次にあげた事項についてどう思いますか。次の(ア)～(オ)の事項ごとに、あなたの考えに最も近いもの1つを選んでください。

	う 差別だと思	え ば差別だと思	ど ちらかとい	え ない いちがいに言	え ば差別では ないと思	ど ちらかとい	え ば差別では ないと思	と 思	差 別 で は な い
(ア) 就職試験の成績や面接結果が、他の人よりも良かったにもかかわらず、母子家庭であることを理由に不採用とされた。 回答番号9	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]				
(イ) 妻が外に働きに出たいと考え夫に相談したところ、夫は「男は仕事・女は家庭」と言って、妻が働くことに反対した。 回答番号10	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]				
(ウ) 子どものある人が家を購入しようとしたが、近くに同和地区※があり、同じ通学区域になることがわかったので、買うのを取りやめた。 . . . 回答番号11	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]				
(エ) 外国人であることを理由に、賃貸マンションへの入居を断られた。 回答番号12	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]				
(オ) 自宅の近くに建設される病院が精神科病院であると聞き、その建設に反対した。 . . . 回答番号13	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]				

※ 「同和地区」については、「特別措置法による同和对策事業の対象地域」として限定的に使用される場合もありますが、本調査では「被差別部落」を指す言葉として用いています。

問 10 人権に関する問題をめぐって、さまざまな意見があります。あなたはどのように思いますか。次の(ア)～(コ)のそれぞれの意見について、あなたの考えに最も近いもの 1つ を選んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	いそう思わない
(ア) 部落差別はいけないことだが、私には関係のない話だ。 回答番号 14	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
(イ) そっとしておけば、部落差別は自然になくなっていく。 回答番号 15	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
(ウ) 部落差別を許さない態度を身に付けることは、他の人権問題の解決にもプラスになる。 回答番号 16	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
(エ) 身体障害者が利用できるようにすべての公共施設を改修するべきだ。 回答番号 17	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
(オ) 読み書きに困難のある児童生徒が授業中のタブレット端末使用を希望すれば、必要な支援として検討するべきだ。 回答番号 18	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
(カ) 外国人住民は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ。 回答番号 19	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
(キ) 外国人は、仕事をする上で少々待遇が悪くても仕方がない。 回答番号 20	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
(ク) 子育ての間は、母親は育児に専念するべきだ。 回答番号 21	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
(ケ) 国会で女性議員の割合が低いのは問題だ。 回答番号 22	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
(コ) インターネットのサイトに他人の誹謗中傷を書き込むことは問題だ。 回答番号 23	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]

問 11 あなたは、様々な人権問題に関連する次の事項について、内容や経緯（背景）をどの程度理解していますか。次の(ア)～(ス)それぞれの事項について、いずれか1つを選んでください。

	知らない	聞いたことがあ るがあまり理解 していない	おおよそ理解し ている	理解しており 人に説明できる
(ア) 「水平社宣言」 回答番号 24	[1]	[2]	[3]	[4]
(イ) 「同和対策審議会答申」 回答番号 25	[1]	[2]	[3]	[4]
(ウ) 「近畿高等学校統一用紙」(統一応募用紙)の制定など公正な 採用選考の取組 回答番号 26	[1]	[2]	[3]	[4]
(エ) 「部落差別解消法」 回答番号 27	[1]	[2]	[3]	[4]
(オ) DV (ドメスティック・バイオレンス) . . . 回答番号 28	[1]	[2]	[3]	[4]
(カ) 「いじめ防止対策推進法」が示す、「いじめの定義」 回答番号 29	[1]	[2]	[3]	[4]
(キ) 「障害者差別解消法」が示す「合理的な配慮」 回答番号 30	[1]	[2]	[3]	[4]
(ク) 日本に在住する外国人に対する「ヘイトスピーチ」 回答番号 31	[1]	[2]	[3]	[4]
(ケ) 性的指向・性自認に係る児童生徒への対応 回答番号 32	[1]	[2]	[3]	[4]
(コ) 日本におけるハンセン病患者・元患者に対する「隔離政策」 回答番号 33	[1]	[2]	[3]	[4]
(サ) 京都府子どもの貧困対策推進計画において、学校がプラット フォームとして位置付けられたこと . . . 回答番号 34	[1]	[2]	[3]	[4]
(シ) 北朝鮮当局による拉致問題 回答番号 35	[1]	[2]	[3]	[4]
(ス) インターネットによる人権侵害 回答番号 36	[1]	[2]	[3]	[4]

問 12 あなたは現在、研修等で人権問題を考える（学ぶ）際に、どのような知識や情報が重要だと思いますか。次のうちから3つ以内で選んでください。 **回答番号 37**

- [1] 人権問題（差別）の歴史
- [2] 現在の人権問題（差別）の実態
- [3] 社会の意識（意識調査等）
- [4] 人権擁護の根拠となる法律等
- [5] 人権問題の解決に向けた取組
- [6] 人権学習の教材の活用方法
- [7] 被差別の当事者の思い

問 13 児童生徒に人権について考えさせる（人権学習を進める）際に、現在あなたが困っているのはどのようなことですか。次のうちから3つ以内で選んでください。 **回答番号 38**

- [1] 子どもの意欲や関心を高めるのが難しい
- [2] 間違っただけをしないか（差別をばらまいてしまうのではないか）不安である
- [3] どのようなことをしていいかわからない
- [4] 「人権学習資料集」の活用方法がわからない
- [5] 研修を受ける機会が少ない
- [6] 学校全体で取り組む体制（雰囲気）が整っていない
- [7] その他（別紙に自由記述をお願いします）

問 14 次の期間の中であなたが、差別や人権（同和問題除く）について最も深く考える契機となったのは、いつですか。次のうちから1つを選んでください。 **回答番号 39**

- [1] 小学校時代
- [2] 中学校時代
- [3] 高等学校時代
- [4] 大学・大学院・短大・専門学校時代
- [5] 大学等を卒業してから教職につくまで
- [6] 教職についた後

問 15 あなたが、差別や人権（同和問題除く）について深く考える契機となったのは、どのような出会いや学びですか。次のうちから3つ以内で選んでください。 **回答番号 40**

- [1] 小学校から大学までの間に受けた人権学習
- [2] 職場の人権教育の取組
- [3] 被差別の当事者との出会い
- [4] 人権問題の解決に向けて取り組む人（職場の同僚や管理職を含む）との出会い
- [5] 差別事象（インターネット上の差別事象を含む）
- [6] その他（別紙に自由記述をお願いします）

問 16 次の期間の中であなたが、同和問題について最も深く考える契機となったのは、いつですか。次のうちから1つを選んでください。 **回答番号 41**

- [1] 小学校時代
- [2] 中学校時代
- [3] 高等学校時代
- [4] 大学・大学院・短大・専門学校時代
- [5] 大学等を卒業してから教職につくまで
- [6] 教職についた後

問 17 あなたが同和問題について深く考える契機になったのは、どのような出会いや学びですか。次のうちから3つ以内で選んでください。 **回答番号 42**

- [1] 小学校から大学までの間に受けた人権学習
- [2] 職場の人権教育の取組
- [3] 被差別の当事者との出会い
- [4] 部落差別の解決に向けて取り組む人（職場の同僚や管理職を含む）との出会い
- [5] 差別事象（インターネット上の差別事象を含む）
- [6] その他（別紙に自由記述をお願いします）

問 18 あなたが同和問題を初めて知った時の気持ちに最も近いと思うものを次のうちから1つを選んでください。 **回答番号 43**

- [1] 同和問題を早く解決したいと思った
- [2] 差別をなくす活動や運動に共感した
- [3] 差別の悲惨さだけが強く残った
- [4] 自分には関係のない話だと思った
- [5] よくわからなかった
- [6] その他（別紙に自由記述をお願いします）

問 19 あなたが、学校における人権教育を進める上で特に重要だと思うことは何ですか。次のうちから3つ以内で選んでください。 **回答番号 44**

- [1] 学校における人権教育の推進体制に関すること（組織、計画、取組の評価など）
- [2] 児童生徒の関係づくり、学級等の集団づくり、人権が尊重される環境づくりに関すること
- [3] 基礎学力の定着と希望進路の実現に関すること
- [4] 人権学習の指導内容等に関すること（テーマ、ねらい、教材など）
- [5] 人権学習の指導方法等に関すること（「参加」「体験」を取り入れた指導方法、児童生徒の主体性を尊重した指導方法など）
- [6] 人権尊重の理念や個別的な人権課題等に対する教職員自身の知識・理解を深めること
- [7] 教職員自身が人権感覚を養うこと（ステレオタイプや偏見を見きわめる技能、人権の実現のために行動しようとする意欲・態度など）
- [8] 児童生徒の意識、児童生徒が抱える問題などについての現状・背景等の理解を深めること
- [9] 家庭、地域社会、関係諸機関との連携や校種間の連携に関すること

問 20 現在、児童生徒の人権教育に携わるに当たって、あなた自身が特に身に付けなければならないことは何ですか。次のうちから3つ以内で選んでください。 **回答番号 45**

- [1] 人権に関わる知識を深めること(人権発展の歴史や人権侵害の現状について、関連の法案・条約についてなど)
- [2] 人権感覚を養うこと(ステレオタイプや偏見を見きわめる技能、人権の実現のために行動しようとする意欲・態度など)
- [3] 自分に身近な人権問題、個別の人権課題等に関する理解を深めること
- [4] 人権学習の指導技術を高めること(人権学習への主体的参加意欲の喚起、効果的な発問、気付きへの導きなど)
- [5] 児童生徒をはじめとした他者とのよりよい人間関係を形成するためのスキルを高めること(他者に受容的に接する技能、共感的な人間関係を築く力など)
- [6] 人権尊重の観点から、日常の様々な場面における言動等に配慮すること
- [7] 家庭訪問等をとおして、個別の人権課題における被差別の当事者の願いや思いを聴き、差別の現実や実態を理解すること

問 21 あなたが、人権教育を推進していく上で、日頃考えていること、気になっていることなどがありましたらお書きください。

別紙に自由記述をお願いします。

質問は、以上で終了です。

回答番号 45 までマークしていただいているか、もう一度御確認ください。

御協力ありがとうございました。